

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

庄内グリーン住宅

グループの名称

庄内の家 匠の森倶楽部

直近採択グループ番号

04-0351-0123

(グループ代表者)

代表者名

阿部 昭

代表者印

代表者所属先

株式会社阿部製材所

代表者所在地

山形県酒田市市条字横枕36番地

代表者電話番号

02-3464-2036

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社阿部製材所

事務局担当者名

阿部 知行

印

事務局郵便番号

999-8232

事務局所在地

山形県酒田市市条字横枕36番地

事務局電話番号

02-3464-2036

事務局FAX

02-3464-3812

事務局担当者E-mail

abe-lum2@zpost.plala.or.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	庄内グリーン住宅
2. グループの名称(必須)	庄内の家 匠の森倶楽部
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0351-0123
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	阿部 昭
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社阿部製材所
8. グループ代表者所在地(必須)	山形県酒田市市条字横枕36番地
9. グループ代表者電話番号(必須)	02-3464-2036
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社阿部製材所
11. グループ事務局担当者名(必須)	阿部 知行
12. グループ事務局郵便番号(必須)	999-8232
13. グループ事務局所在地(必須)	山形県酒田市市条字横枕36番地
14. グループ事務局電話番号(必須)	02-3464-2036
15. グループ事務局FAX番号(必須)	02-3464-3812
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	abe-lum2@zpost.plala.or.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	5	産地・出荷者が多岐にわたり特定が困難な場合や、海外の事業者であるため。
II. 製材・集材材製造・合板製造	6	製材・製造業者が海外の事業者で念書の期限内での入手が不可能であったため。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	8	
IV. プレカット	2	
V. 設計	3	
VI. 施工	10	
VII. 木材を扱わない流通	3	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	杉	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度	2	国内
	杉集成材	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度のうちやまがた県産材集成材	1	国内
	杉合板	山形県	やまがた県産材合板認証制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		1	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m <sup>2</sup>							
		申請が未確定	棟							
			m <sup>2</sup>							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	施工グループ構成員に事前ヒアリングを行い、今年度の補助対象物件の予定戸数を把握し、申請戸数を決定した。受注が確実視されている対象物件に優先的に配分する。増減がある場合、事務局を通して協議・調整する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 庄内グリーン住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 庄内の家 匠の森倶楽部	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0351-0123	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	必要な断熱性能等の省エネルギー性能を確保し、寒暖の差を軽減できる性能。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地質に応じた地盤調査を選定し実施する。地盤調査報告書を事務局にて確認する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏の日射を遮る軒の出。風害、塩害、凍害に耐える外装材、屋根材の選定。雪害に対応した屋根形状。	◎
④①～③の背景	山形県庄内地域は日本海に面し、南北100km・東西40kmほどの広さがある。その多くは平坦な土地(庄内平野)である。庄内平野は、日本海に面した西側以外の3方を、鳥海山や出羽山脈などの山々に囲まれており、最上川の河口が開けた扇状地である。沿岸部では、多雨多雪で冬期には西からの季節風が強い。一方中山間地域では、寒暖の差が大きく、多雨・多雪地帯である。また、面積の約70%が森林である自然豊かな地域である。各地の森林から伐採された木材を活用し、気候特性を考慮した、自然と共生する住宅を供給することを目標とする。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	第三者機関による住宅の履歴情報の蓄積・管理。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材、サッシはより高性能のものを使用するように努め、目的とする仕様水準を確保する。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 使用する木材はKD材、集成材を標準仕様とする。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 着工予定の情報を事務局に集中し、建材・資材については各構成員との連携で確実な納入を確保する。	◎
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 事務局は、木材関連業者・流通業者から木材、建材、設備等に関する情報を収集し、設計、施工メンバーへ情報提供する。また、設計、施工メンバーから施工(予定)物件に関する情報を取得し、木材関連、流通メンバーへの協力を要請する。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 地盤調査に基づく基礎形状の選定、構造及び断熱施工に関する分かりやすい基準を作成し、施工メンバーへ周知する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 構造検査、断熱、気密検査を実施し、検査報告書を発行し施工主様へお渡しする。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: グループ名の入った共通の見積書を作成し、積算に関しても共通のマスターデータを設定し、標準化を図る。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 当会のホームページを作成、一般公開し、構造・完成見学会やイベント情報などグループの取り組みを紹介する。また現場にはグループのノボリや看板を設置する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	金融機関と連携し、ローンセミナー等を通じてフラット35Sなどを積極的にPRサポートを行う。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 庄内グリーン住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 庄内の家 匠の森倶楽部	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0351-0123	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員が主体となり、住宅の履歴情報を第三者機関と連携し、確実に履歴情報の蓄積・管理を行う。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員が主体となり、住宅点検サービス等を活用する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局と各施工構成員が情報を共有し、事務局においてチェックする。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年間のメンテナンス計画書を作成し、それに基づいて定期点検を行う。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検又はOB施主様への訪問等での情報をもとに、適切な補修を行う。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局と各施工構成員が情報を共有し、事務局においてチェックする。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者向けのイベント等を開催し、OB客向けの相談会や勉強会を行う。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者向けのイベントを適宜開催し、情報収集の一助とする。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記の他、ローン相談等、各種相談会を適宜開催する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理担当者を定め、履歴情報の登録や点検が適切に行われているかのチェックを行う。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ代表及び事務局が施主様に事情を説明し、適切な代替事業者をメンバー内より紹介し、継続的な維持管理を行う。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	点検については、事業者自身が実施することが困難な場合は、点検代行サービスを利用するものとする。	○
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿命型、高度省エネ型共に未経験工務店がいることから、研修会等を実施し技術向上を図る。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補助対象物件の仕様が適切かどうか、書類や現場確認を、事務局を主体に行う。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各メンバーの受注予定物件の情報を収集し、資材調達情報を照らし合わせ、より合理的な需給計画を立てる。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員を対象としたセミナー、見学会等を積極的に実施する。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 8	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 5	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講者に対して事務局より開催時期等の情報を提供し、早期受講を促す。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材・資材メーカー等と連携し、技術提案や新商品の情報などの勉強会を開催する。	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新商品を積極的に導入し、現場で実証実験を実施し、問題や改善策を検討し技術向上を図る。	○
その他	認定低炭素住宅等から、ゼロ・エネ住宅への進化を早期に実現するため、研修における内容を一次エネルギー消費量の算定方法などへも拡張し、また長期優良住宅に関しても、各計算を実施し、事業者にも参考してもらい、ゼロ・エネ化への動機付けとする。	○
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 庄内グリーン住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 庄内の家 匠の森倶楽部	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0351-0123	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
<p>a</p> <p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>主要構造材並びに2次部材に地域材を使用する。</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満    <input type="checkbox"/> 50%以上    <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>主要構造材                  土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  羽柄材    間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  造作材    柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している                  板材    壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>地域材供給の流れ</p> <p>○一部施工グループ構成員においては、大工職人育成等の面から手刻み加工を行う場合があるため、プレカットを通さず供給される場合がある。</p> <p>*合法木材、各認証木材の一部においては、原木供給者や木材製品等製造者の特定が困難な場合がある。その場合、製材・集成材・合板グループ、流通グループ、プレカットグループに所属する出荷者による合法性等の証明によって代替できる。</p>	◎
<p>b</p> <p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p><input type="checkbox"/> ない    <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原木事業者や製材事業者の中には、県産材、合法木材利用の実績のある事業者が加わっており、その在庫量、供給可能量は容易に把握できる。事務局において情報を集約・提供していく。</p> <p><input type="checkbox"/> ない    <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記の理由により、地域材の価格情報も事務局において集約・提供する。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 随時運営委員会を開催して、地域型住宅の受注予定等の情報を共有し、地域材の需給状況と照らし合わせ、必要な措置を講じる。</p>	◎
<p>c</p> <p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	○
<p>d</p> <p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の住宅デザインを十分に考慮すると共に、深い庇や軒、続間、障子、土間などの地域の伝統的な要素を現代の暮らしに取り入れた提案を積極的に推進する。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各市町村の市役所・役場にて調査の上、町並みづくりのガイドライン等がある地区においては、ガイドラインに配慮した町並みづくりに積極的に参加する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組	合板は、岩手県産カラマツ、宮城県産杉等、被災地由来の素材で製造されたものを積極的に使用する。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 庄内グリーン住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 庄内の家 匠の森倶楽部	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0351-0123	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高度省エネ型・認定低炭素・ゼロエネルギー住宅のグループの特徴

- 建築工法による制限はないが、高気密・高断熱住宅を推奨し、より少ないエネルギーで快適な生活が出来る住居を推奨していく。
  
- 当グループの施工地域は全国的にも日射が少ない地域である為、断熱性能の向上を推奨し省エネルギー住宅、ゼロエネルギー住宅の設計・施工をする。
- 照明は全室LEDにすることを推奨する。
- 当グループの施工地域は積雪が多い為、積雪重と太陽光パネルの荷重を考慮した設計・施工を推奨する。
- 施工業者様にゼロエネルギー住宅を薦めるにあたり、事務局から建材・設備等の情報提供を定期的に行う。
- ゼロエネルギー住宅のスキルアップ・情報の共有も兼ねて、現場見学会や講習会の開催を行う。
- 高性能エアコン・高効率エコキュート等の導入を積極的に推奨する。
- 主要構造材・2次部材に地域材を80%以上使用する。